

本部MA2022-048

2023年2月21日

猫がクルマに入り込んでしまったトラブル1カ月で19件！ 1年通して発生するトラブル、暖かくなっても引き続きご注意を！

JAF（一般社団法人日本自動車連盟 会長 坂口正芳）は猫の日（2月22日）の前日である2月21日（火）、1月1日（日）～31日（火）にかけて発生した“猫がクルマに入り込んだことによるトラブル”の救援要請件数を発表いたしました。

■“エンジンルームに猫”1カ月で19件！そのうち7件はエンジン始動後に発覚

1月1日（日）～1月31日（火）の1カ月間でドライバーから「エンジンルームに猫が入り込んでしまった」と救援要請いただいた件数は全国で19件。このうち、エンジン始動後に気づき救援要請されたと明確にわかるものは7件ありました。

猫が入り込んでいることに気づかずエンジンをかけてしまうとエンジンベルトなどに巻き込まれる場合があります。ベルトに巻き込まれてしまうとそのベルトが千切れてしまったり、千切れなくとも洗浄が必要になる可能性があります。猫の命を守るためにも、乗車の前はボンネットなどエンジンルーム付近をやさしく叩くことを実践しましょう。

なお、ボンネットを叩くいわゆる“猫ばんばん”は有効ですが、万能ではありません。叩いて出てくるかは個猫差があります。叩いたあと猫の声や気配を感じたらボンネットを開け、中まで確認してください。

- ・クルマ何でも質問箱「猫がエンジンルームに入ることを知っていますか？」

<https://jaf.or.jp/common/kuruma-qa/category-trouble/subcategory-prevention/faq256>

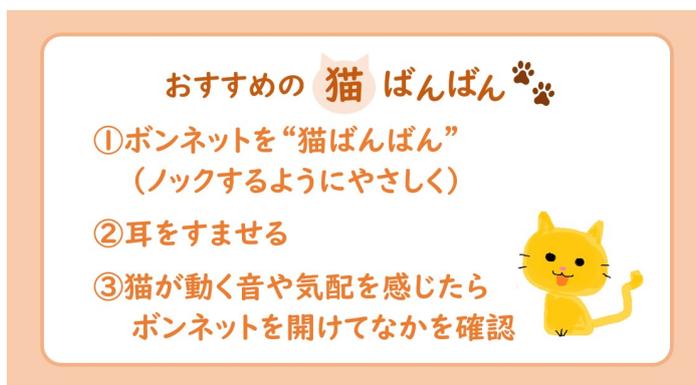
■入り込む理由は“暖かいから”だけじゃない！雨の日はさらに要注意！！

寒い冬に暖かい場所を求めてエンジンルームに入り込むと思われがちですが、JAFには1年を通して猫がクルマに入り込むトラブルの救援要請があります。昨年6月に実施した同調査では、多く救援をいただいた日は全国的に雨。濡れることを嫌う猫が車に入り込んだと考えられます。駐車しているクルマのエンジンルームは風雨が入りにくく暗く狭い空間で、警戒心の強い猫にとっては安心できるようです。冬場に限らずご注意ください。とくに子猫は小さな体ですきまに入り込みやすいので、子猫が生まれる季節も注意が必要です。

- ・ニュースリリース（2022年11月24日配信）

「寒さより天気！？なんと冬の13.5倍！猫がクルマに入り込んだトラブル6月は284件！」

<https://jaf.or.jp/common/news/2022/20221124-001>



ボンネットを叩くだけでなく、反応した音がしないか耳をすませましょう。

一般社団法人 日本自動車連盟 広報課

Tel : 03(3578)4920 Fax : 03(3578)4912 Mail : koho@o3.jaf.or.jp URL : <https://jaf.or.jp/>
〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30 日本自動車会館